

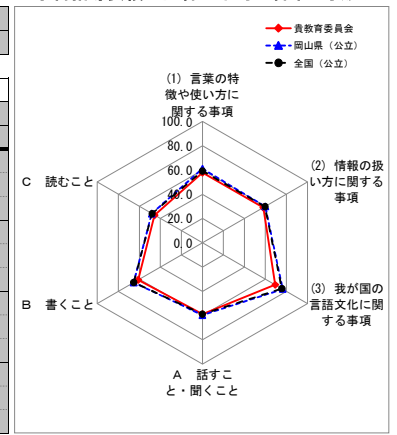
・以下の集計値/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		津山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
		702	14,210	875,574

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			貴教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
全体			56	59	58.1
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	57.7	61.1	59.2
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	58.0	59.8	59.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	69.4	76.4	75.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	58.7	59.6	58.8
		B 書くこと	61.1	65.3	65.3
		C 読むこと	45.5	48.2	47.9
評価の観点	知識・技能	6	59.8	63.2	62.0
	思考・判断・表現	9	53.4	55.8	55.4
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	9	58.4	61.6	61.0
	短答式	3	62.1	62.6	61.8
	記述式	3	42.2	46.3	45.5

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の観点	問題形式	正答率 (%)			無解答率 (%)						
			知識及び技能					思考力、判断力、表現力等	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	岡山県 (公立)	全国 (公立)	貴教育委員会	岡山県 (公立)	全国 (公立)
			(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	(2) 情報の扱い方にに関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項												
1-1	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる			1エ	○	○		64.1	65.6	63.2	0.1	0.2	0.4			
1-2	話合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む	資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができるかどうかをみる			2ウ	○	○		65.8	67.5	68.5	4.1	3.4	3.5			
1-3	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		1ア		○	○		42.7	44.5	44.0	0.1	0.3	0.5			
1-4	話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く	話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる			1オ	○	○		46.2	45.8	44.7	8.4	10.6	9.9			
2-1	本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する	文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる			2ウ	○	○		33.9	36.0	36.3	0.3	0.3	0.5			
2-2	本文中の情報と情報との関係を説明したものとして適切なものを選択する	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		2ア		○	○		73.4	75.0	75.2	0.4	0.4	0.6			
2-3	本文中に示されている二つの例の役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切なものをそれぞれ選択する	文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができるかどうかをみる			2ア	○	○		60.1	64.5	64.5	0.1	0.4	0.6			
2-4	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する	目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる			1ウ	○	○		36.3	43.6	42.6	7.1	8.6	8.4			
3-1	物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる			1ア	○	○		78.1	80.9	81.4	0.6	0.5	0.7			
3-2	物語の下書きについて、文の中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切なものを選択する	文の成分の順序や照応について理解しているかどうかをみる		2オ		○	○		50.9	53.7	53.8	0.9	0.8	1.0			
3-3	漢字を書く(みちたりた)	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる			2ウ	○	○		68.8	71.6	68.8	7.5	9.0	10.2			
3-4	表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する	表現の効果を考えながら描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる			2ウ	○	○		44.2	49.6	49.3	16.2	15.1	15.0			
4-1	短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する	表現の技法について理解しているかどうかをみる			1オ	○	○		53.4	58.1	54.9	1.1	1.6	1.8			
4-2	短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える	短歌の内容について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる			1イ	○	○		51.6	48.7	48.3	2.3	3.5	3.4			
4-3	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する	行書の特徴を理解しているかどうかをみる			1エ(イ)	○	○		69.4	76.4	75.6	2.0	2.1	2.3			

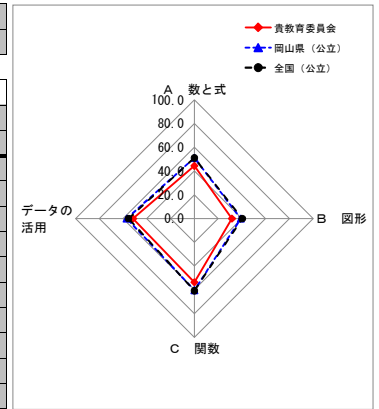
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		津山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
		702	14,228	875,952

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）			
			貴教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）	
全体			16	46	53	52.5
学習指導要領の領域	A 数と式	5	44.4	51.1	51.1	
	B 図形	3	31.7	39.1	40.3	
	C 関数	4	53.6	60.4	60.7	
	D データの活用	4	51.6	56.9	55.5	
評価の観点	知識・技能	11	57.5	63.6	63.1	
	思考・判断・表現	5	21.0	28.4	29.3	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	5	52.1	58.9	58.5	
	短答式	6	62.1	67.5	67.0	
	記述式	5	21.0	28.4	29.3	

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点	問題形式	正答率（%）			無解答率（%）		
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用			貴教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
1	nを整数とするとき、連続する二つの偶数を、それぞれnを用いた式で表す	連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる	$\frac{2}{7}(1)$				○		28.1	35.2	34.8	13.7	13.2	14.3
2	等式 $6x + 2y = 1$ を y について解く	等式を目的に応じて変形することができるかどうかをみる	$\frac{2}{7}(1)$				○		49.0	55.1	52.5	10.8	9.2	9.7
3	正方形が回転移動したとき、回転前の正方形の頂点に対応する頂点を、回転後の正方形から選ぶ	回転移動について理解しているかどうかをみる		$\frac{1}{7}(1)$			○		58.7	67.4	68.3	0.7	0.3	0.3
4	一次関数 $y = ax + b$ について、 $a = 1$ 、 $b = 1$ のときのグラフに対して、bの値を変えずに、aの値を大きくしたときのグラフを選ぶ	一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解しているかどうかをみる			$\frac{2}{7}(1)$		○		56.7	66.9	65.3	0.9	0.7	0.7
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表が出る確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる				$\frac{2}{7}(2)$	○		71.8	76.5	73.1	3.8	3.7	4.2
6 (1)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかけた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができるかどうかをみる	$\frac{1}{7}(1)$				○		87.2	89.4	90.2	3.4	2.8	2.5
6 (2)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかけた図において、□に入れた整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	$\frac{2}{7}(1)$				○		23.5	34.3	35.9	26.5	25.8	23.5
6 (3)	正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかけた図において、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について予想できることを説明する	統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	$\frac{2}{7}(1)$				○		34.3	41.3	41.8	30.9	30.0	29.6
7 (1)	障害物からの距離が10cmより小さいことを感知して止まる設定にした車型ロボットについて実験した結果を基に、10cmの位置から進んだ距離の最頻値を求める	与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかをみる				$\frac{6}{7}(1)$	○		67.7	73.2	74.3	5.8	5.4	5.8
7 (2)	車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる				$\frac{2}{7}(1)$	○		20.2	25.7	25.9	32.6	28.8	29.4
7 (3)	車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ	複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる				$\frac{2}{7}(1)$	○		46.7	52.4	48.5	1.1	0.9	0.9
8 (1)	ストップの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとy軸との交点Pのy座標の値が表すものを選ぶ	二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することができるかどうかをみる				$\frac{2}{7}(1)$	○		78.3	82.6	83.4	0.9	0.8	0.8
8 (2)	18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストップの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる				$\frac{2}{7}(1)$	○		10.8	16.5	17.1	19.5	16.1	16.4
8 (3)	結衣さんがかけたグラフから、18Lの灯油を使い切るような「強」と「弱」のストップの設定の組み合わせとその使用時間を書く	グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる				$\frac{2}{7}(1)$	○		68.7	75.7	76.9	4.0	3.5	3.8
9 (1)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくらうとき、AQ=PBであることを、三角形の合同を基にして証明する	筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる	$\frac{2}{7}(2)$				○		16.2	24.4	25.8	38.9	35.3	33.6
9 (2)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくらうとき、∠AQCと∠BPCの大きさについていえることの説明として正しいものを選ぶ	事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見出すことができるかどうかをみる	$\frac{2}{7}(2)$				○		20.1	25.5	26.7	5.1	4.7	4.5